

## 磯山地区において地籍図および地籍簿を作成

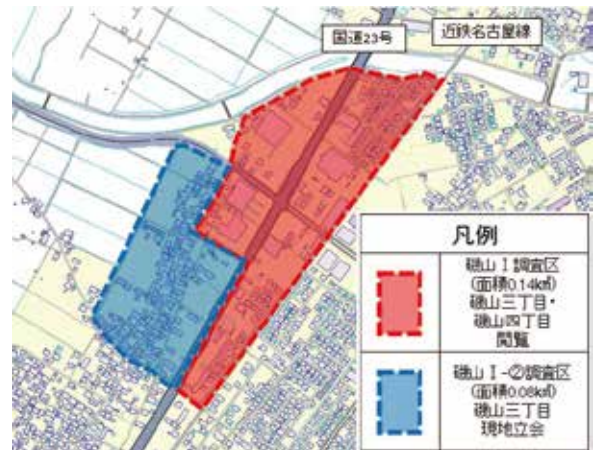
## ○地籍調査費 326万円

(概要) 磯山地区の津波浸水区域において、大規模災害発生時の迅速な復旧などのために、国土調査法に基づき実施する地籍調査に要する経費を計上するもの。

**質疑** 磯山地区を調査地区に選定した理由は何か。また、次に調査を行う予定の地区はどこか。

**答弁** 本市の地籍調査は、D I D地区(人口集中地区)で津波被害が想定される国道23号沿いの調査を優先的に行っており、これまで白子地区、寺家地区、磯山地区の順に調査を進めている。

今後は、中ノ川までの調査を行う予定であり、その後は、沿岸部である長太地区や若松地区の調査を予定しているが、市内全域から調査の要望があるため、沿岸部だけではなく幹線道路沿いの公図混乱箇所も含めて検討していきたい。



令和3年度地籍調査予定箇所図

## 議案第37号 令和3年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)

## 上下水道局庁舎入口に据置式非接触赤外線温度計を設置

## ○据置式非接触赤外線温度計購入費 121万7,000円

(概要) 上下水道局への来庁者および職員の感染防止に係る据置式非接触赤外線温度計(5台)の購入に要する経費を計上するもの。

**質疑** 据置式非接触赤外線温度計の設置場所および耐用年数はどうなっているのか。

**答弁** 上下水道局本館の正面入口および東西の職員入口の3カ所、別館の正面入口および裏口の2カ所に設置する。新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は説明会などの開催を見合わせているが、可動式であるため、説明会などが再開した場合には会場での使用も考えている。

経理上、固定資産として耐用年数を10年とし、減価償却していく予定である。



据置式非接触赤外線温度計